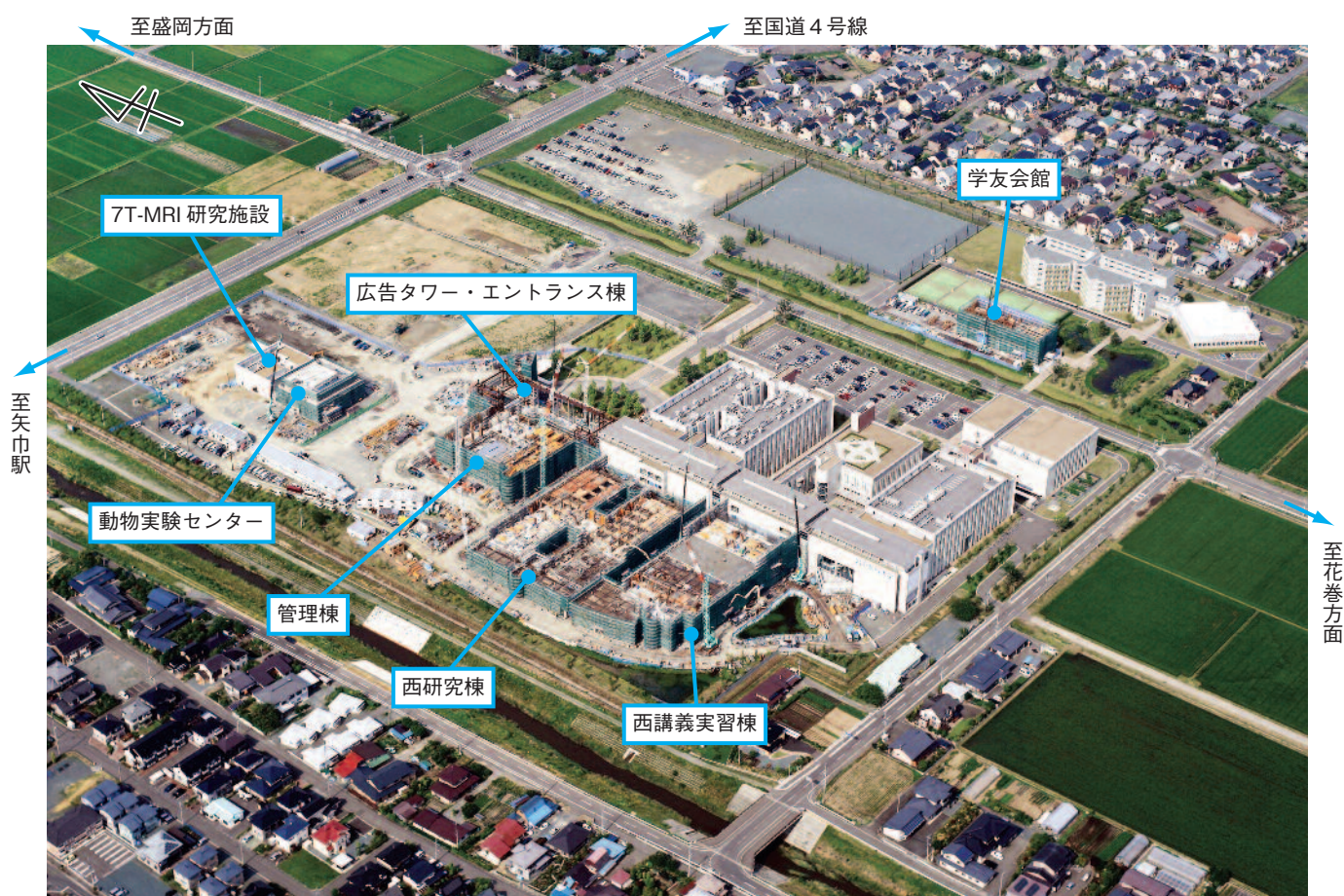


岩手医科大学報

Iwate Medical University News

2010・8 vol.407

●発行者—学長 小川 彰 ●題字—理事長 大堀 勉



建築の進む矢巾キャンパス全景（撮影日：7月2日）

おもな内容

- 巻頭言 キャリア支援センターの誕生 キャリア支援センター長 西郡 秀夫
- 特集 大学図書館の機能・役割の変化
- トピックス 花巻温泉病院で七夕さんさ会が催される
- 栄養部おすすめ 「夏バテ防止に効く美味しい料理レシピ」



キャリア支援センターの誕生

キャリア支援センター長
薬学部薬剤治療学講座教授

西 郡 秀 夫

平 成22年度事業計画の一つとして、キャリア支援センターが誕生し、センター長は不肖ながら小生が務め、副センター長の関隆、医学部教授2名（谷田達男、人見次郎）、歯学部教授2名（中居賢司、米満正美）、薬学部教授3名（小澤正吾、高橋勝雄、畠中稔）、中井理史顧問、細川栄子事務員とともに、運営することになりました。

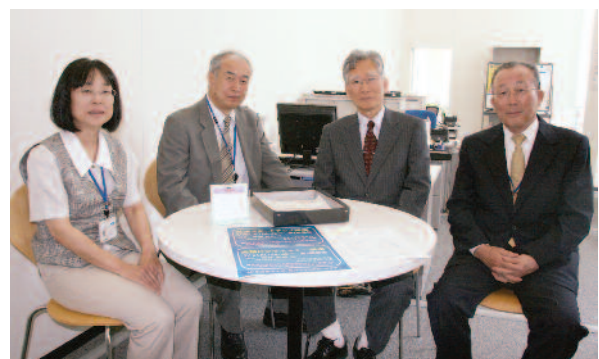
さ て、本学には、「誠の人間・医療人」を輩出する使命があります。入学生が卒業までに学是の医療人に変貌し、目的とする医師、歯科医師、薬剤師免許を取得し、それぞれが希望する道へ進めるような体制を構築しておくことが必要です。本センターの役割は、学生が在学中に修得した「力」を十分に発揮できる場を開拓し、目的を達成するには専門以外にどのような研鑽と勉強が必要か、などを報知し、希望する職に就けるのを支援することです。また卒業生の窓口になることも大切な仕事になると考えています。

学 生の就職問題」は本学では別世界の話であったと思います。医学部、歯学部の特异性に加え、歴史の重みと社会への多大な貢献や実績などで医大が非常に高く評価されていたからです。しかし、新設の薬学部にとって、「就職」は大問題です。「医大の薬学部から採用してよかった!! 次も……」の声が聞こえ、「医大の薬学部を卒業すれば、希望に叶う職に就ける」という言を耳にする学部になることが急務です。近年、全国的に薬学部志望者が減少する中、医療を重視した6年制薬学教育の成果（薬剤師の力量）が注

目されています。「就職を巡る満足度」が高ければ、医学部、歯学部、附属病院に併設している本学薬学部の「医療薬学教育の充実度」をアピールでき、薬学部ひいては本学の評価が高まり、入学希望者数にも好影響します。

教 育を歪めることのないように配慮し、多くの方々のご理解と協力を得ながら、年間スケジュールに沿い、就職支援活動を開始しました。今後、求人情報の迅速な公開や効果的な指導及び卒業生管理などの作業効率をあげるために「就職支援システム」を導入し、また就職活動のスタート時点で失敗しないように面接マナー・スキルおよび書類記入法などを専門的に指導できる体制作りも急ぎたいと思っています。

キ ャリア支援センターは、医学部、歯学部、薬学部在校生と卒業生の積極的な活用を待っています。それには充分に応えられるだけの蓄積が必要です。各種資料、情報の提供とご協力を学内外、特に学内の諸氏にお願い申し上げます。



（左から）
細川事務員、関副センター長、西郡センター長、中井顧問

岩手医科大学募金状況報告

● 総合移転整備事業募金

平成21年6月から始めました岩手医科大学総合移転整備事業募金に対し、格別のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

今後とも関係各方面からの格別なるご協力・ご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

今回は4回目の御芳名紹介です。(平成22年5月1日～平成22年6月30日)

※御芳名及び寄付金額は、掲載を希望されない方については掲載していません。

会社・法人等 (4件)

<20,000,000円>

株式会社こずかたサービス (盛岡市)

<1,000,000円>

医療法人遠藤皮膚科医院 (宮城県大崎市)

医療法人医和生会 (福島県いわき市)

<御芳名のみ掲載>

株式会社成瀬理工 (盛岡市)

(受付順、敬称略)

個人 (26件)

<5,000,000円>

亀井 俊也 (医36)

<1,000,000円>

菊池 洋 (医22)

近江 徹廣 (医23)

<500,000円>

井上 洋西 (元教職員)

岩手医科大学医学部同窓会

函館支部支部長 平田 忍

圭陵会広島県支部

<100,000円>

川村 秀司 (医35)

有馬 恒彦 (医23)

<80,000円>

中里 義範 (父兄)

<御芳名のみ掲載>

菅井 有 (教職員)

畑山 尚三 (役員)

大畑 健次郎 (父兄)

戸田 慎治 (歯12)

小野寺 佳奈 (医46)

内山 順誠 (歯34)

内山 偉誠 (歯33)

斎藤 和好 (名誉教授)

斎藤 恵子 (他74)

斎藤 英朗 (歯26)

斎藤 恭佳 (歯23)

斎藤 慎二 (教職員)

小守林 尚之 (歯1)

千葉 俊美 (教職員)

水谷 元雄 (医23)

三浦 五郎 (一般)

内村 忍 (医22)

(受付順、敬称略)

これまでの募金累計額

区分	申込件数	募金金額(円)
圭陵会	307	165,565,000
在学生ご父母	128	56,220,000
役員・名誉教授	25	14,610,000
教職員	81	10,231,888
在学生	1	100,000
一般	68	85,660,000
合計	610	332,386,888

(平成22年6月30日現在)

お知らせ ~個人が寄付した場合の寄付金控除適用下限額が引き下げられました~

平成22年の所得税法改正により、個人が寄付した場合の寄付金控除適用下限額(式中の囲い部分)が5,000円から**2,000円**に引き下げられ、税制上の優遇措置が大きくなりました。

当該年中に支出した寄付金の額(※) **-2,000円** = 寄付金控除額

(※) 総所得金額等の40%が上限

特集

大学図書館の機能・役割の変化

図書館長 澤井高志

大学図書館は「学術情報基盤」の構成要素とされています。「学術情報基盤」とは、コンピュータ、ネットワーク、学術資料・情報など、学術研究に不可欠な社会基盤であり、大学図書館の業務やサービスはこれらを支えるものとして位置づけられています。

コンピュータとネットワークが場所としての役割を果たしている今、図書館に足を運ばなくてもできることがたくさんあります。所蔵の有無を確認すること、自宅や出張先から電子ジャーナルを閲覧すること、学外文献を依頼すること、貸出履歴を確認すること、EBM 実践のための文献を探すこと、貸出中の図書に予約を入れること、インパクトファクターを調べること、EndNote（論文作成支援ソフト）を使うこと etc.

紙媒体と電子媒体が混在した情報環境の中で、大学図書館の果たす役割がどう変化してきたかについて紹介します。

1. 電子化推進

値上がりの激しい外国雑誌は予算を圧迫し続けたため、2006年頃、本学の外国雑誌はコア中のコアしか残っていない状況でしたが、薬学部開設を機に電子化を進め、立て直しを図ることができました。今では購読誌全体の9割近くを電子版が占め、図書館資料費の7割が電子版に充てられています〔図1、表1〕。利用率の高い雑誌ベスト5は〔表2〕のとおりです。電子ジャーナルを有効に活用してもらうため、2010年からリンクリゾルバも導入しました。学術図書館研究委員会（SCREAL）が2007年に行なった電子ジャーナルの利用動向調査によると、医歯薬分野では、50%以上が“ほぼ毎日利用している”と回答しており、もはや電子ジャーナルなしでは学術研究が成り立たない状況です。ただ、外国雑誌の購読料は相変わらず毎年10%近く値上がりし、為替レートの影響も受けますので、安定供給のための財源確保は頭の痛い問題です。電子ジャーナルの購読は、出版社が刊行する大部分のタイトルや分野別パッケージの一括契約が主流になっており、見直しともなれば「All or Nothing」の選択を迫られることとなります。

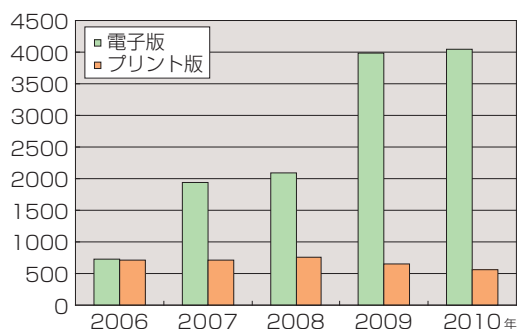


図1 購読誌（内国雑誌含む）のタイトル数

表1 2009年度図書館資料購入費内訳

図書・視聴覚資料	9%
外国雑誌（プリント版）	14%
内国雑誌（プリント版）	5%
電子ジャーナル 電子ブック データベース	70%
新聞・追録	2%

表2 電子ジャーナルダウンロード件数上位5誌（2007-2009の合計）

外国雑誌	件数	内国雑誌	件数
J Biol Chem	13,219	医学のあゆみ	2,285
Science	5,624	ICUとCCU	1,463
Nature	5,116	総合臨床	1,371
Cancer Res	4,817	小児科診療	1,227
Blood	4,307	癌と化学療法	1,207

2. 患者・一般市民の皆さんへの開放



一般市民の皆さんの医療情報に対するニーズの高まりを受けて、2006年に設置した医療情報コーナー〔左写真〕の図書も600冊を数え、蔵書検索専用のパソコンも用意しました。2009年に西病棟にオープンした『がん患者・家族サロン』備付の図書もシステムに登録しましたので、併せて検索できます。附属病院から図書館までの順路がわかりにくかったため案内標示を設置し、正面玄関にスロープを設置して車椅子の方でも利用できるようにしました。矢巾分館も開放しております。今後は、地域住民の皆さんを対象とした講演会や企画展示などにも取り組んでいきたいと思っております。

3. 学術情報の発信

欧米では、公的助成を受けた研究成果のオープンアクセス（オンラインにより無料で制約なく論文にアクセスできること）を義務化する動きがあります。オープンアクセスの手段のひとつが機関リポジトリ（学術機関がその機

関に属する研究者の研究成果物を収集・蓄積・提供するしくみ)であり、日本では平成22年3月現在112機関が構築しています。大学が自ら教育研究成果を発信していくことは、社会に対する説明責任を果たすことにもなり、大学として進めていかなければならない事業のひとつです。掲載の対象は大学によって異なりますが、研究論文、報告書から、e-learning教材、動画、音声、実験データなどの非文献コンテンツまで様々です。

4. 教育・学習支援

学びのスタイルが多様化していることから、大学図書館の新しい役割として学習の場として図書館、教育支援ということが盛んに言われるようになってきました。矢巾分館では今までも、ガイダンス、オリエンテーション、演習の補助など初年次教育に積極的に関わってきましたが、学部移転にともない一層強化しなければならない業務のひとつです。利用者層に応じた利用指導が必須であり、館員には情報リテラシー能力はもちろん、英語、電子資料の評価能力まで求められます。

結びにかえて

図書館システムの更新によりOPAC(オンライン蔵書目録)画面は携帯電話からも利用できます。電子ジャーナルとは対極をなす古医書の整理も徐々に進み、所蔵の入力を始めております。図書館は来館者も非来館者も大歓迎です。ご不明な点がありましたなら、遠慮なく電話(内線:本館2303/分館5360)またはメール(tosho@j.iwate-med.ac.jp)でお問い合わせください。

省エネ推進委員会だより

今回はクルマの「エコドライブ」についてご紹介します。クルマの運転による燃費の違いは、個人差があり、車種による違いもありますので、自分にあった方法を探しながら「エコドライブ」を実行してみたいはいかがでしょうか。



ふんわりアクセル「eスタート」

普通の発進より少し緩やかに発進する(最初の5秒で時速20kmが目安)だけで11%程度の燃費が改善します。



早めの「アクセルオフ」エンジブレーキを積極的に使いましょう

エンジブレーキを使うと、燃料供給が停止され2%程度燃費が改善します。停止位置が分かったら早めにアクセルオフを心掛けましょう。



アイドリングストップ

10分間のアイドリング(ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合)で、130cc程度の燃料を浪費します。



不要な荷物は積まずに走行

100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。



参考資料: チームマイナス6%HP

理事会報告

■ 6月定例(6月28日開催)

1. 教育職員の人事について

<昇任>

泌尿器科学講座

准教授 丹治 進 (前 嘱託准教授)

内科学講座(循環器・腎・内分泌内科分野)

准教授 蒔田 真司(前 講師)

(平成22年7月1日付)

2. 平成23年度学納金の改定及び学則の一部変更について

<医学部学士編入学>

・初年度納入額を施設整備費150万円、教育充実費を400万円に改訂

・次年度以降納入額を施設整備費150万円に改訂

<歯学部一般入学>

・教育充実費を200万円に改訂

(施行年月日:平成23年4月1日)

3. 教育職員の定員に関する規程の一部改正について

歯学部運用定員を28名、任期付助教定員を14名に変更

(施行年月日:平成22年7月1日)

4. 就業規則の一部改正について

平成22年6月30日付で育児・介護休業法が改正されることに伴い、子の看護休暇及び介護休暇に係る就業規則を改正

(施行年月日:平成22年6月30日)

5. 組織機構図の一部改正について

睡眠医療に関連する複数の専門診療科を連携させ、大学病院の機能を生かした患者の確保と教育・研究・診療の一層の充実を期すため、医学部に「睡眠医療学科」、医科診療科に「睡眠医療科」を設置

(施行年月日:平成22年7月1日)

超高速インターネット衛星を使用した遠隔病理診断実験が行われる



平成22年6月28日(月)から6月30日(水)の3日間にわたり、本学病理学講座(先進機能病理学分野)澤井高志教授ら研究グループと宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)を使用した遠隔病理診断の実用化に向けた実証実験を行いました。

本実験では、本学病理学講座研究室(岩手)と国際医療福祉大学三田病院(東京)、琉球大学(沖縄)の3地点を衛星で結び、専門医による遠隔病理診断が行われ、細胞組織や血液疾患の病理診断が十分に可能であることが実証されました。

これにより、離島・山間部における医療レベルの格差解消やがん治療の均てん化の推進が期待され、今後は国際レベルでの医療支援や医学教育への応用も期待されます。本実験は、全国のメディアで報道され、日本中の注目を集めるものとなりました。

※本実験の詳細は、[本学ホームページ【ニュース・トピックス】](#)に掲載しています。

花巻温泉病院で「七夕さんさ会」が催される

花巻温泉病院では7月16日(金)午後2時から「七夕さんさ会」を開催し、職員約30名が「七夕くずし」「栄夜差踊り」「花巻温泉音頭」を披露し、職員手作りの綿アメ・かき氷などが配られました。この「七夕さんさ会」は、「盛岡さんさ」に向けた練習成果の披露を兼ねて、例年7月の七夕会に合わせて開催されています。

会場では「早く元気になれますように」などの願いが込められた短冊やたくさんの七夕飾りが取り付けられ、浴衣姿の職員達はそれらを囲む様に笛・太鼓・唄・踊りを演じました。会場内は、踊りに合わせた患者さんの手拍子が鳴り響き、職員の輪に入って一緒に踊りを楽しむ患者さんもいて、お祭りの様な活気溢れるものとなりました。

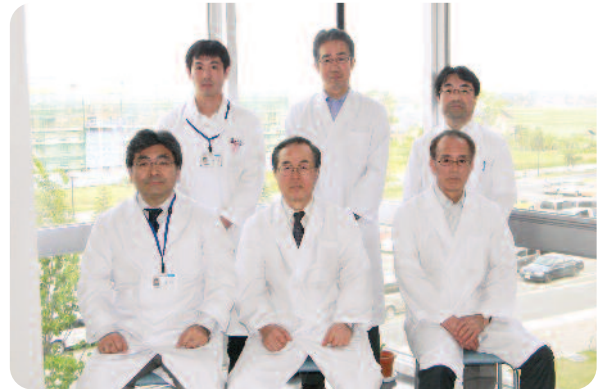




薬学部 臨床薬理学講座

臨床薬理学講座は、高橋勝雄教授、藤原邦彦准教授、工藤賢三准教授、蠣崎淳講師、岩渕修助教、千葉健史助教の6名で構成されています。また、当講座の特徴は、すべての教員が実務経験を有することであり、臨床現場における実務を基盤とした研究および教育を行っています。実際の臨床現場では、個々の患者さんに対する医薬品の選択、使用方法、副作用回避など未だエビデンスが確立されていない分野が数多く存在します。当講座では、臨床現場と連携し、現場で抽出された問題点をテーマとして、研究に取り組んでいます。また、教育については、4年次の調剤学、臨床薬理学、薬事関係法規および実務実習事前学習を担当し、実践的な知識および技能の指導に加え、医

療人として必要な態度についての教育も行います。これらを通じて、医療現場に貢献し、かつ患者さんに対して思いやりのある臨床薬剤師の養成を目指しています。(助教 千葉 健史)



看護部 (集中治療部)

集中治療部は一般的なICU (general ICU) として、内科、外科系、小児などすべての患者を対象に治療・看護を行っています。その対象は、大手術後、呼吸不全の急性増悪、急性心不全、重篤な代謝障害、意識障害、心肺蘇生後などの重症患

者であり、院内外の重症患者を受け入れ全身管理を行っています。近年では、救命救急部門に搬送される患者や肝移植術後患者が増加傾向にあり、オープンスペースの病床にあらゆる疾患の患者が混在するため、その特徴に合わせたベッド配置を考慮しながら、感染防止・医療事故防止に取り組んでいます。また、治療が円滑に行われるよう医師や臨床工学技士、他部門と協働するとともに、患者の心身の回復のために患者に寄り添ったケアを提供できるよう心がけています。今年度から14床での稼働となり、看護スタッフが増員となりました。私達はこれまで以上に、よりいっそう適切な判断力を持ち、病態変化に応じた最適なケアができるよう日々取り組んでいます。



(主任看護師 遠藤 恵美子)

第76回大学報編集委員会

日時：平成22年8月5日(木)午後4時～午後5時

出席委員：大堀委員長、山崎、影山、藤本、小山、佐藤、千田、佐々木(光)、佐々木(さ)、米澤、赤松、佐々木(忠)、岩動、武藤、野里

欠席委員：松政、齋野、中島、佐々木(志)

編集後記

今年度から編集委員を担当させて頂いております。今月号は「七夕さんさ会」、「夏の料理レシピ」と季節感たっぷりです。特集は「図書館」、日常は電子ジャーナルの利用が多くなりがちですが、ぜひこの機会に学生時代を思い出し「夏の図書館」を訪れてみませんか。今後も大学内のニュースをいち早く皆様にお届けできるよう活動してまいります。



今号は私達が担当しました (左から 千田、佐々木(光)、佐々木(志)) (編集委員 千田 弥栄子)

岩手医科大学報 第407号

発行年月日 平成22年8月27日

編集 岩手医科大学報編集委員会

事務局 企画部 企画課

盛岡市内丸19 - 1

TEL 019-651-5111 (内線7022)

FAX 019-624-1231

E-mail:kikaku@j.iwate-med.ac.jp

印刷 河北印刷(株) 盛岡市本町通2-8-7

TEL 019-623-4256

E-mail:office@kahoku-ipm.jp

栄養部
おすすめ

夏バテ防止に効く美味しい料理レシピ



夏は暑さに負けて食欲が落ちてしまいがち…。しかし、冷たい飲み物や果物だけで食事を済ませてしまうと、ますます体力が落ち、夏バテの原因になってしまいます。

夏バテ防止のために、エネルギーを効率よく燃焼させるビタミン B 群を摂るように心がけましょう。また、食欲増進や疲労回復効果などがある香味野菜（生姜や葱、にんにくなど）を上手に使い、暑い夏を乗り切りましょう。

豚肉の山芋巻き

山芋のネバネバは胃腸を守り、一緒に食べたものの消化吸収を助ける効果があり、体力増強・疲労回復・虚弱体質改善などに抜群の威力を発揮します。また、豚肉に多く含まれるビタミン B₁ は糖質の代謝を促進し、疲労のもととなる「乳酸」が貯まるのを防いでくれます。ストレスが多い時はビタミン B₁ が多く使われるため、疲れた時やストレスを多く感じた時は豚肉を使った料理をおすすめします。



<作り方>

- ①豚肉に塩・こしょうをふる
- ②長芋は拍子切りにする（1～2cm角）
- ③豚肉に大葉をしき、長芋を巻き、全体的に小麦粉をまぶす
- ④平鍋に油をしき、豚肉に焼き目をつける（巻き目を下にする）
- ⑤調味料を入れ、落とし蓋をして弱火で煮る
- ⑥5～6分したら、落とし蓋を取り、煮汁がとろりとするまで中火で煮る
- ⑦1/2にカットし、サラダ菜などをしいた皿に盛付ける

キャベツをしいたごはんの上にスライスした肉巻きをのせ、タレをかけ黄身を落として白ごまをふりかけると、おいしい「豚肉丼」になります。

1人分

エネルギー…193kcal
たんぱく質…14.4g
塩分…1.6g

材料（4人分）

豚薄切り肉…12枚
長芋…160g
大葉…4枚
砂糖…大さじ1/2
塩…少々
こしょう…少々
しょうゆ…大さじ2
酒…大さじ1/2
小麦粉…適量
サラダ油…大さじ1

鯉のめかぶのつけ盛

大洋を大回遊する鯉。鯉の赤身には長距離を泳ぐために必要なエネルギー源がたっぷり含まれています。また、血合い部分はビタミン群とミネラルの宝庫になっています。特に貧血予防には欠かせないビタミン B₁₂ や、血液をさらにしてくれる DHA や EPA も豊富ですので、高血圧や動脈硬化が気になる方にもおすすめです。

また、オクラやめかぶにふくまれるネバネバ成分のもととなる「ペクチン」は肌荒れや肥満の防止にも効果があります。日差しの強く、肌の露出が多い夏には強い味方となってくれる食材です。

<作り方>

- ①オクラを茹で、小口切りにする
- ②胡瓜を輪切り、人参を千切り、ミョウガを千切り、根しょうがをみじん切りにする
- ③①～②をめかぶと混ぜ、白ごまを加えて混ぜる
- ④ドレッシングと酢で味付けする（酢が多めのほうが美味しいです）
- ⑤鯉の刺身を皿に盛り付け、めかぶを上からかける

鯉だけではなく、鯖など他の刺身にも合います。

めかぶを日本そばや中華麺のにせて食べてもおいしいです♪

1人分

エネルギー…93kcal
たんぱく質…16.8g
塩分…0.6g

材料（4人分）

鯉（刺身用）…240g
オクラ…80g
胡瓜…80g
ミョウガ…80g
めかぶ…120g
人参…20g
根しょうが…5g
白ごま…0.1g
青じそドレッシング…大さじ2
酢…大さじ2

